

令和元年度病床機能報告(確定値)等について

令和2年9月
御坊保健所



地域医療構想の果たすべき役割等について

地域医療構想策定にあたっての背景等

- ◇県内総人口は近年、減少の一途。（人口問題研究所推計）
〔現状〕約92万人⇒〔2025年〕約87万人⇒〔2040年〕約73万人
※御坊圏域の推計
〔現状〕約5.9万人⇒〔2025年〕約5.5万人⇒〔2040年〕約4.4万人
- ◇和歌山県における今後の高齢者人口推移（ピーク）
65歳以上人口：2020年（R2年）頃にピーク
75歳以上人口：2030年（R12年）頃にピーク
※御坊圏域においても同様
- ◇人口減少に加えて人口構造が変遷していく中で、単なる量的な管理だけではなく、「治す医療」から「治し、支える医療」への質的転換が必要。

地域医療構想の果たすべき役割

地域医療構想は、各医療機関の機能分化と連携を図り、高度急性期・急性期・回復期・慢性期から在宅医療に至るまで**将来の医療需要を踏まえ、患者の病状に合った質の高い医療提供体制を構築**しようとするもの。

（※）医療法の規定に基づき「県保健医療計画の一部」として策定。

地域医療構想において定める事項

（1）将来（2025年）の医療需要と必要病床数を定める。

- 高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4機能ごとに推計
- 構想区域（二次保健医療圏を原則）単位で推計

【必要病床数に関する留意事項】

個々の医療機関単位で必要病床数を割り当てる構想ではなく、「構想区域単位」「医療機能区分単位」で必要病床数を定める。

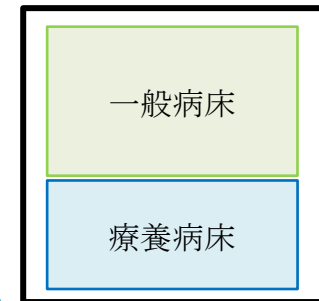
（2）地域医療構想を実現するための施策を定める。

- （施策例）○医療機能の分化・連携に係る取組、
○在宅医療の充実、
○医療従事者の確保・養成 等

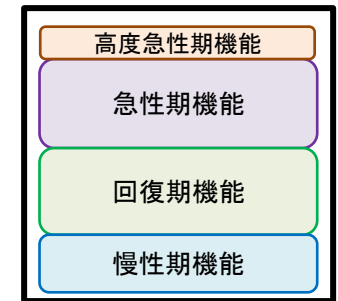
病床再編のイメージ

（構想区域ごとに推進）

現在



2025年



構想策定後は、医療法の規定に基づく協議の場合「**地域医療構想調整会議**」を設置し、構想を達成するために必要な事項を協議。

御坊圏域における地域医療構想の取組状況等

「地域医療構想調整会議」（協議の場）の開催

御坊圏域の調整会議は平成28年8月31日に第1回を開催し、今回で10回目

第1回（平28. 8. 31）

- ・地域医療構想の達成を推進するための「今後の方針」等を決定

第2回（平28. 12. 5）

- ・国保日高総合病院の休床病床稼働等について

第3回（平29. 1. 10） ※書面開催

- ・日高総合病院の病床機能転換に係る補助金活用について

第4回（平29. 3. 13）

- ・地域医療構想と公的病院のあり方について
- ・重症心身障害児施設の病床に関する取扱いについて

第5回（平30. 2. 28）

- ・『新公立病院改革プラン』及び『公的医療機関等2025プラン』に係る意見交換について

第6回（平30. 9. 13）

- ・非稼働病床に関する対応方針等について

第7回（平31. 3. 14）

- ・病床機能報告における「定量的な基準」の導入について
- ・病床機能転換等に係る補助制度の見直しについて

第8回（令01. 9. 5）

- ・ひだか病院の病床廃止について

第9回（令02. 3） ※書面開催

- ・『厚生労働省の再編・統合の要請の動向』及び『御坊圏域の経営分析にかかる進捗状況』について

現状の病床数と「2025年の必要病床数」

病床機能別の許可病床数等

（令和2年4月1日現在）

※重心病床163床を除く。

医療機関名	計	病床機能別			
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期
ひだか病院	263	8	173	82	
和歌山病院	132		85		※ 47
北出病院	182		90	41	51
整形外科北裏病院	100		100		
紀伊クリニック	18				18
計	695	8	448	123	116
2025年の必要病床数	655	20	210	191	234

- 急性期が過剰
- 高度急性期、回復期、慢性期は不足（要充足）

医療機能について（定性的な基準）

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	<p>急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能</p> <p>※高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例</p> <p>救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室であるなど、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟</p>
急性期機能	<p>急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能</p>
回復期機能	<p>○急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能</p> <p>○特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）</p>
慢性期機能	<p>○長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能</p> <p>○長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能</p>

地域医療構想において定めた「2025年の必要病床数」と現状の病床数について

圏域名	医療機能	〔参考〕 2013年度の 必要病床数 (床)	4年経過	
			【1】 2015年7月1日現在 の病床数(床) ※病床機能報告	【2】 2019年7月1日現在 の病床数(床) ※病床機能報告
和歌山	① 高度急性期	511	1,281	1,273
	② 急性期	1,554	2,793	2,335
	③ 回復期	1,629	622	983
	④ 慢性期	1,080	1,377	1,177
	⑤ 分類なし		199	194
	小 計	4,774	6,272	5,962
那 賀	① 高度急性期	43	0	0
	② 急性期	224	483	464
	③ 回復期	207	198	256
	④ 慢性期	427	429	390
	⑤ 分類なし		19	0
	小 計	901	1,129	1,110
橋 本	① 高度急性期	63	6	10
	② 急性期	245	498	465
	③ 回復期	292	171	186
	④ 慢性期	74	179	180
	⑤ 分類なし		12	0
	小 計	674	866	841
有 田	① 高度急性期	24	0	0
	② 急性期	137	350	219
	③ 回復期	140	85	233
	④ 慢性期(特例)	257	263	223
	⑤ 分類なし		0	0
	小 計	558	698	675
御 坊	① 高度急性期	41	4	8
	② 急性期	209	492	458
	③ 回復期	187	97	123
	④ 慢性期	255	274	279
	⑤ 分類なし		38	0
	小 計	692	905	868
田 辺	① 高度急性期	151	36	36
	② 急性期	397	926	723
	③ 回復期	331	171	365
	④ 慢性期	384	503	381
	⑤ 分類なし		44	38
	小 計	1,263	1,680	1,543
新 宮	① 高度急性期	48	0	0
	② 急性期	178	559	399
	③ 回復期	212	64	129
	④ 慢性期	236	397	410
	⑤ 分類なし		44	40
	小 計	674	1,064	978
県 計	① 高度急性期	881	1,327	1,327
	② 急性期	2,944	6,101	5,063
	③ 回復期	2,998	1,408	2,275
	④ 慢性期	2,713	3,422	3,040
	⑤ 分類なし		356	272
	小 計	9,536	12,614	11,977

「病床機能報告」(2019年7月1日現在)による病床数
(左表の【1】を病院・診療所別にしたもの)

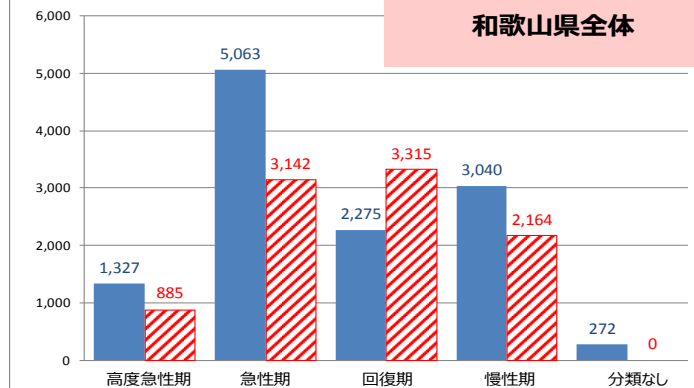
区 分	医療機能数
和歌山	68
病院	40
有床診療所	28
那賀	14
病院	7
有床診療所	7
橋本	9
病院	4
有床診療所	5
有田	8
病院	5
有床診療所	3
御坊	5
病院	4
有床診療所	1
田辺	13
病院	8
有床診療所	5
新宮	12
病院	7
有床診療所	5
県計	129
病院	75
有床診療所	54

(単位: 床)					
病 床 数					
高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
1,273	2,335	983	1,177	194	5,962
1,273	2,150	927	1,072	131	5,553
	185	56	105	63	409
	464	256	390		1,110
	419	199	371		989
	45	57	19		121
10	465	186	180		841
10	447	184	123		764
	18	2	57		77
	219	233	223		675
	190	233	204		627
	29		19		48
8	458	123	279		868
8	458	123	261		850
			18		18
36	723	365	381	38	1,543
36	711	346	343	30	1,466
	12	19	38	8	77
	399	129	410	40	978
	370	110	410	2	892
	29	19		38	86
1,327	5,063	2,275	3,040	272	11,977
1,327	4,745	2,122	2,784	163	11,141
	318	153	256	109	836

「2025年の必要病床数」と現状の病床数（棒グラフによる比較）

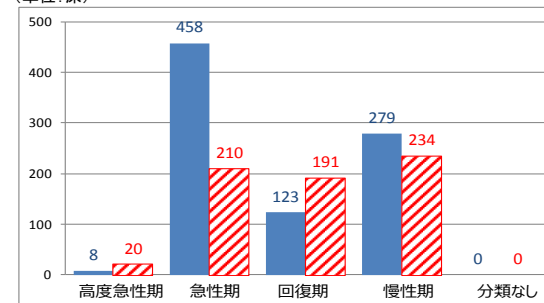
(単位: 床)

和歌山県全体



御坊 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



棒グラフ凡例



2025年の必要病床数

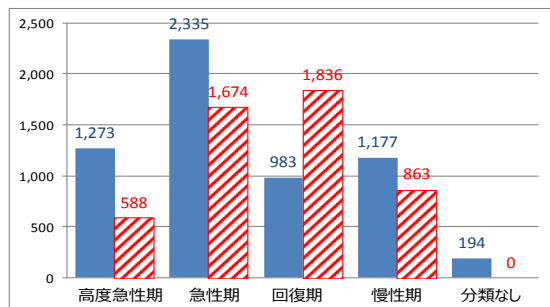


現状(2019年)の病床数

(※) 現状の病床数は、病床機能報告
(2019年7月1日現在) より

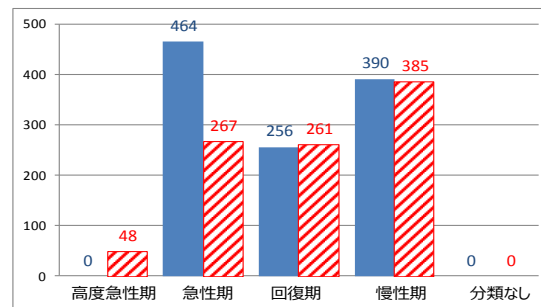
和歌山 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



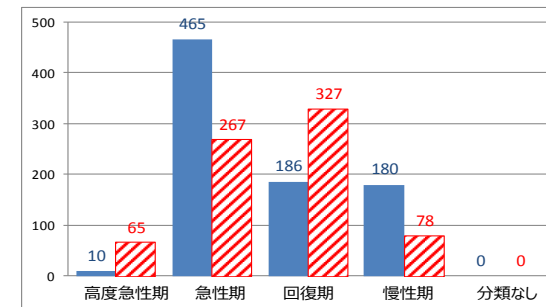
那賀 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



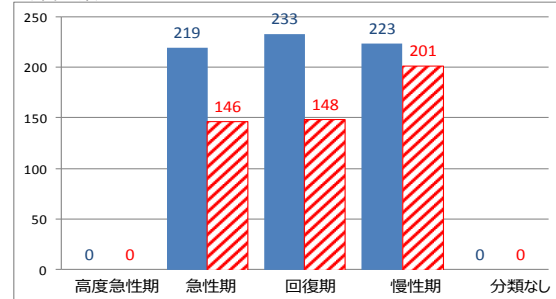
橋本 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



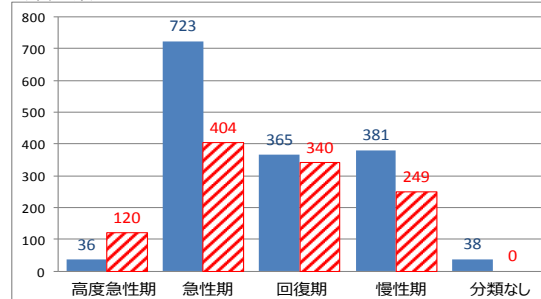
有田 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



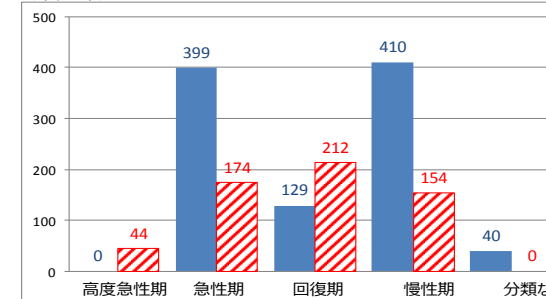
田辺 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



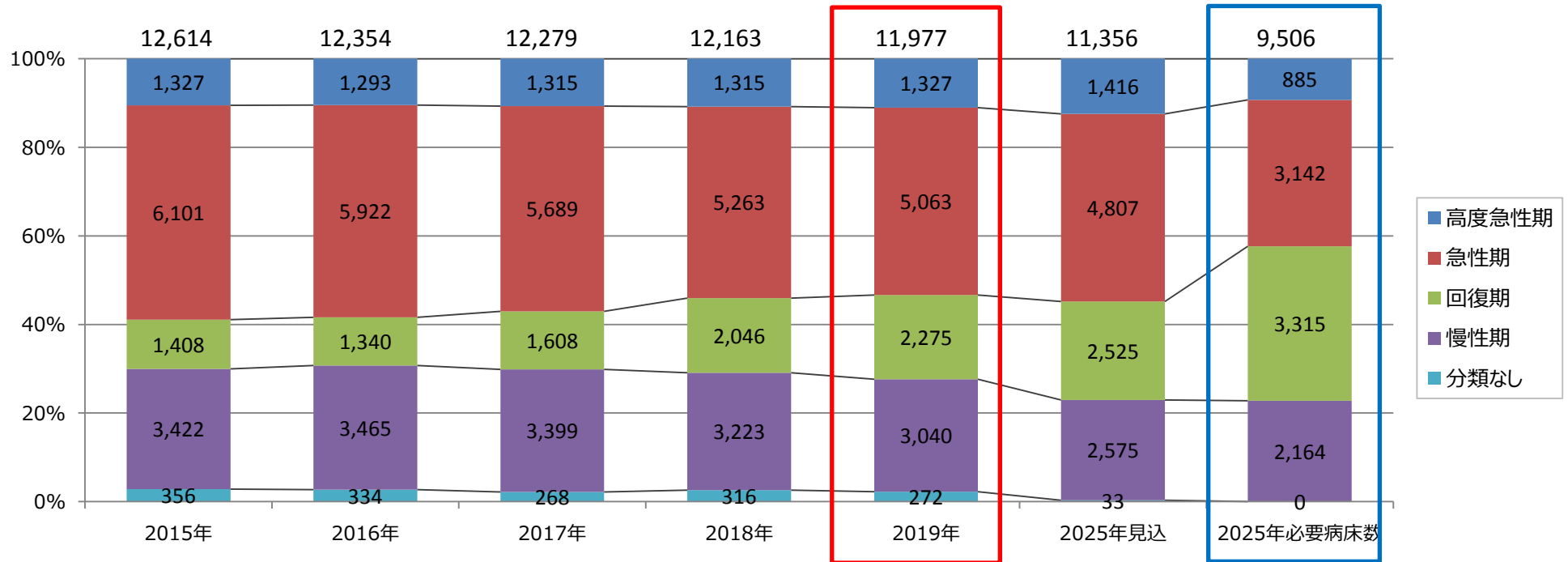
新宮 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



病床機能ごとの病床数について

- 病床数の増減（対前年度）は、高度急性期（+12）急性期（▲200）回復期（+229）慢性期（▲183）分類なし（▲44）であり、全体で▲186となった。
- 主な増減要因としては、急性期から回復期への病床機能の転換、慢性期から介護保険施設への移行等。
- なお、回復期病床は2025年に向けて年々増加しているものの、1,040床不足している状況。



(病院、診療所)	2015年		2016年		2017年		2018年(A)		2019年(B)		2025年見込(C)		2025年必要病床数(D)		対前年度比 (B-A)	2019→2025 増減見込 (C-B)	必要病床数 との乖離 (B-D)
高度急性期	1,327	10.5%	1,293	10.5%	1,315	10.7%	1,315	10.8%	1,327	10.9%	1,416	11.5%	885	7.3%	12	89	442
急性期	6,101	48.4%	5,922	47.9%	5,689	46.3%	5,263	43.3%	5,063	41.6%	4,807	39.1%	3,142	25.8%	▲ 200	▲ 256	1,921
回復期	1,408	11.2%	1,340	10.8%	1,608	13.1%	2,046	16.8%	2,275	18.7%	2,525	20.6%	3,315	27.3%	229	250	▲ 1,040
慢性期	3,422	27.1%	3,465	28.0%	3,399	27.7%	3,223	26.5%	3,040	25.0%	2,575	21.0%	2,164	17.8%	▲ 183	▲ 465	876
分類なし	356	2.8%	334	2.7%	268	2.2%	316	2.6%	272	2.2%	33	0.3%	0	0.0%	▲ 44	▲ 239	272
合計	12,614		12,354		12,279		12,163		11,977		11,356		9,506		▲ 186	▲ 621	2,471

※ 2025年見込については2019年度報告データ。

※ 報告対象医療機関は毎年増減あり。

【①和歌山県全体】病床機能ごとの病床数について（2018年度→2019年度）

1 病院

2019年度報告対象医療機関：病院75（前年度比±0） 有床診療所54（前年度比▲5）

保健医療圏	2018年度病床機能報告(2018年7月1日現在) (A)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,581	1,261	2,196	806	1,175	143
那賀	989		419	199	371	
橋本	764	10	447	184	123	
有田	627		216	207	204	
御坊	850	8	458	123	261	
田辺	1,556	36	793	264	423	40
新宮	892		370	110	410	2
計	11,259	1,315	4,899	1,893	2,967	185

保健医療圏	2019年度病床機能報告(2019年7月1日現在) (B)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,553	1,273	2,150	927	1,072	131
那賀	989		419	199	371	
橋本	764	10	447	184	123	
有田	627		190	233	204	
御坊	850	8	458	123	261	
田辺	1,466	36	711	346	343	30
新宮	892		370	110	410	2
計	11,141	1,327	4,745	2,122	2,784	163

保健医療圏	2018年度 → 2019年度の増減 (B) - (A)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 28	12	▲ 46	121	▲ 103	▲ 12
那賀						
橋本						
有田			▲ 26	26		
御坊						
田辺	▲ 90		▲ 82	82	▲ 80	▲ 10
新宮	▲ 118	12	▲ 154	229	▲ 183	▲ 22

2 有床診療所

保健医療圏	2018年度病床機能報告(2018年7月1日現在) (A)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	456		210	56	105	85
那賀	121		45	57	19	
橋本	77		18	2	57	
有田	69		50		19	
御坊	18				18	
田辺	77		12	19	38	8
新宮	86		29	19		38
計	904		364	153	256	131

保健医療圏	2019年度病床機能報告(2019年7月1日現在) (B)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	409		185	56	105	63
那賀	121		45	57	19	
橋本	77		18	2	57	
有田	48		29		19	
御坊	18				18	
田辺	77		12	19	38	8
新宮	86		29	19		38
計	836		318	153	256	109

保健医療圏	2018年度 → 2019年度の増減 (B) - (A)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 47		▲ 25			▲ 22
那賀						
橋本						
有田	▲ 21		▲ 21			
御坊						
田辺						
新宮						
計	▲ 68		▲ 46			▲ 22

3 病院＋有床診療所

保健医療圏	2018年度病床機能報告(2018年7月1日現在) (A)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	6,037	1,261	2,406	862	1,280	228
那賀	1,110		464	256	390	
橋本	841	10	465	186	180	
有田	696		266	207	223	
御坊	868	8	458	123	279	
田辺	1,633	36	805	283	461	48
新宮	978		399	129	410	40
計	12,163	1,315	5,263	2,046	3,223	316

保健医療圏	2019年度病床機能報告(2019年7月1日現在) (B)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,962	1,273	2,335	983	1,177	194
那賀	1,110		464	256	390	
橋本	841	10	465	186	180	
有田	675		219	233	223	
御坊	868	8	458	123	279	
田辺	1,543	36	723	365	381	38
新宮	978		399	129	410	40
計	11,977	1,327	5,063	2,275	3,040	272

保健医療圏	2018年度 → 2019年度の増減 (B) - (A)					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 75	12	▲ 71	121	▲ 103	▲ 34
那賀						
橋本						
有田	▲ 21		▲ 47	26		
御坊						
田辺	▲ 90		▲ 82	82	▲ 80	▲ 10
新宮						
計	▲ 186	12	▲ 200	229	▲ 183	▲ 44

※下段の赤字は2025年必要病床数

病床機能別の許可病床数[御坊圏域]

平成30年7月1日→令和2年4月1日

※重心病床163床を除く。

	平成30年7月1日 (A) (病床機能報告による)					令和元年7月1日 (病床機能報告による)					令和2年4月1日 (B) (御坊保健所調べ)					(B) - (A)				
	計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期
御坊保健医療圏	705	8	458	123	116	705	8	458	123	116	695	8	448	123	116	▲ 10	0	▲ 10	0	0
ひだか病院	273	8	183	82	0	273	8	183	82	0	263	8	173	82	0	▲ 10	0	▲ 10	0	0
和歌山病院	132	0	85	0 ※	47	132	0	85	0 ※	47	132	0	85	0 ※	47	0	0	0	0	0
北出病院	182	0	90	41	51	182	0	90	41	51	182	0	90	41	51	0	0	0	0	0
整形外科北裏病院	100	0	100	0	0	100	0	100	0	0	100	0	100	0	0	0	0	0	0	0
紀伊クリニック	18	0	0	0	18	18	0	0	0	18	18	0	0	0	18	0	0	0	0	0

・急性期10床廃止(用途転換)

2025年における必要病床数 ⇒

計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期
655	20	210	191	234

【①和歌山県全体】非稼働病床の状況(2018年度→2019年度)

※非稼働病床数とは・・・許可病床数から過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いた病床数のこと

2018年7月1日時点の非稼働病床（A）

保健医療圏	病 院			有床診療所			計		
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	5,581	317	5.7%	456	117	25.7%	6,037	434	7.2%
和歌山市	5,084	310	6.1%	395	113	28.6%	5,479	423	7.7%
海南地域	497	7	1.4%	61	4	6.6%	558	11	2.0%
那 賀	989	51	5.2%	121	7	5.8%	1,110	58	5.2%
橋 本	764	29	3.8%	77	2	2.6%	841	31	3.7%
有 田	627	5	0.8%	69	26	37.7%	696	31	4.5%
御 坊	850	2	0.2%	18	0	0.0%	868	2	0.2%
田 辺	1,556	93	6.0%	77	8	10.4%	1,633	101	6.2%
新 宮	892	23	2.6%	86	27	31.4%	978	50	5.1%
計	11,259	520	4.6%	904	187	20.7%	12,163	707	5.8%

2019年7月1日時点の非稼働病床（B）

保健医療圏	病 院			有床診療所			計		
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	5,553	305	5.5%	409	87	21.3%	5,962	392	6.6%
和歌山市	5,056	299	5.9%	348	82	23.6%	5,404	381	7.1%
海南地域	497	6	1.2%	61	5	8.2%	558	11	2.0%
那 賀	989	49	5.0%	121	11	9.1%	1,110	60	5.4%
橋 本	764	23	3.0%	77	2	2.6%	841	25	3.0%
有 田	627	13	2.1%	48	15	31.3%	675	28	4.1%
御 坊	850	2	0.2%	18	7	38.9%	868	9	1.0%
田 辺	1,466	96	6.5%	77	0	0.0%	1,543	96	6.2%
新 宮	892	43	4.8%	86	43	50.0%	978	86	8.8%
計	11,141	531	4.8%	836	165	19.7%	11,977	696	5.8%

※「海南地域」・・・海南市及び紀美野町

増減（B）－（A）

保健医療圏	病 院			有床診療所			計		
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	▲ 28	▲ 12	-0.2%	▲ 47	▲ 30	-4.4%	▲ 75	▲ 42	-0.6%
和歌山市	▲ 28	▲ 11	-0.2%	▲ 47	▲ 31	-5.0%	▲ 75	▲ 42	-0.7%
海南地域	0	▲ 1	-0.2%	0	1	1.6%	0	0	0.0%
那 賀	0	▲ 2	-0.2%	0	4	3.3%	0	2	0.2%
橋 本	0	▲ 6	-0.8%	0	0	0.0%	0	▲ 6	-0.7%
有 田	0	8	1.3%	▲ 21	▲ 11	-6.4%	▲ 21	▲ 3	-0.3%
御 坊	0	0	0.0%	0	7	38.9%	0	7	0.8%
田 辺	▲ 90	3	0.6%	0	▲ 8	-10.4%	▲ 90	▲ 5	0.0%
新 宮	0	20	2.2%	0	16	18.6%	0	36	3.7%
計	▲ 118	11	0.1%	▲ 68	▲ 22	-0.9%	▲ 186	▲ 11	0.0%

【②御坊保健医療圏】非稼働病床の状況(2019年度)

※非稼働病床数とは・・・許可病床数から過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いた病床数のこと

医療機関名称	一般病床・療養病床 合計			参 考	
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割 合	2018非稼働 病床数 (合 計)	2018→2019 非稼働 増 減
御坊保健医療圏	868	9	1.0%	2	7
ひだか病院	273	1	0.4%		1
和歌山病院	295				
北出病院	182				
整形外科北裏病院	100	1	1.0%	2	▲ 1
紀伊クリニック	18	7	38.9%		7

病床機能報告における和歌山県の「定量的な基準」

(平成30年度地域医療構想調整会議資料より)

「定量的な基準」の導入意義

- ① 一般病棟(7対1基準)に関して、高度急性期並みか急性期並みかの客観的目安を提示するもの。
- ② 一般病棟(10対1、13対1、15対1基準)及び地域包括ケア病棟に関して、急性期機能と名乗るに相応しい機能を果たしているのか否かの、客観的目安を提示するもの。

「定量的な基準」の目的・狙い

- ① 各医療機関が病床機能報告を行うにあたっての**報告基準**を新たに設けるものではない。
- ② 各医療機関が、地域における**自らの医療機能**(例:地域医療に必要な救急受入件数など急性期機能の充足度を評価する)に関する**立ち位置**をより正確に把握することによって、**実態に合った自主的な病床機能報告につなげようとする趣旨**。
- ③ 「定量的な基準」を、医療機能や供給量を把握するための**客観的な目安**として**地域医療構想調整会議の議論**に活用することによって、**議論の活性化につなげようとするもの**。



- 「定量的な基準」によって病床機能の見える化を図り、機能分化を進める。
- 並行して、『公的病院を中心とした再編・ネットワーク化』や『長期にわたる非稼働病床(病棟)の整理』などの取組を引き続き、進めていく。

区分	基準の対象となる医療機能	定量的な基準	
和歌山基準①	高度急性期 ・ 急性期	● ICUなどの4対1基準の病棟はすべて「高度急性期」	
		● 7対1基準の一般病棟のうち、県全体において果たす役割を考慮した上で、下記A～Jの10項目のうち1項目以上が基準超えの病棟(※)は「高度急性期」	
		項目A) 全身麻酔手術	2回／床／月
		項目B) 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回／床／月
		項目C) 悪性腫瘍手術	0.5回／床／月
		項目D) 超急性期脳卒中加算	(レセプト件数)あり
		項目E) 脳血管内手術	(算定回数)あり
		項目F) 経皮的冠動脈形成術	0.5回／床／月
		項目G) 救急搬送診療料	(算定回数)あり
		項目H) 救急諸項目	0.2回／床／月
和歌山基準②	急性期 ・ 回復期	● 上記以外の7対1基準の一般病棟は「急性期」	
		● 救急搬送件数が下記のいずれにも満たない病院は「急性期」と報告しない。	
		項目) 救急搬送件数 (消防統計)	年間300件以上
			中等症以上件数が100件以上

※特定機能病院・救命救急センター・周産期母子医療センターである病院で、過去3年間の実績を定量的な基準に当てはめた結果、基準を超える病棟

注)小児・周産期・緩和ケアなど、地域医療に不可欠であって特殊性の強い病棟は、上記の基準とは切り分けて考えるものとする。

<参考> 和歌山県における定量的な基準② 2018年(H30年)救急搬送件数ベース

二次医療圏	搬送機関：機関名	初診医師評価						
		1-死亡	2-重篤	3-重症	4-中等症	中等症以上小計	5-軽症	6-その他
1	和歌山 日本赤十字社 和歌山医療センター	130		554	2,623	3,307	3,955	3
2	和歌山 和歌山県立医科大学附属病院	86		667	1,918	2,671	2,420	1
3	田辺 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター	65		353	1,353	1,771	1,676	
4	和歌山 独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院	29		138	830	997	2,294	4
5	田辺 紀南病院	72		224	784	1,080	1,330	
6	那賀 公立那賀病院	40		320	1,121	1,481	801	
7	橋本 橋本市市民病院	33		278	882	1,193	992	
8	和歌山 済生会和歌山病院	3		31	423	457	1,326	1
9	新宮 新宮市立医療センター	49		234	636	919	852	
10	御坊 国保日高総合病院	37		219	571	827	864	1
11	新宮 くしもと町立病院	40		106	365	511	566	
12	和歌山 堀口記念病院			2	111	113	956	2
13	田辺 白浜はまゆう病院	17		79	285	381	672	
14	御坊 北出病院	27		113	447	587	434	
15	有田 有田市立病院	25		124	349	498	441	
16	和歌山 海南医療センター	15		69	361	445	349	
17	有田 済生会有田病院	41		125	302	468	254	
18	橋本 医療法人南労会 紀和病院	13		91	304	408	297	
19	新宮 那智勝浦町立温泉病院	25		41	210	276	407	
20	和歌山 和歌山生協病院	3		16	194	213	468	
21	和歌山 医療法人愛晋会 中江病院	3		13	147	163	431	
22	橋本 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	23		49	150	222	313	
23	和歌山 誠佑記念病院	3		73	225	301	212	
24	那賀 貴志川リハビリテーション病院			50	211	261	239	
25	田辺 医療法人研医会 田辺中央病院			32	153	185	274	
26	和歌山 医療法人 橋本病院			4	90	94	323	1
27	和歌山 国保野上厚生総合病院	16		65	127	208	170	
28	和歌山 向陽病院			4	40	44	318	
29	和歌山 須佐病院			3	75	78	274	
30	那賀 稲穂会病院	2		31	137	170	179	
31	和歌山 恵友病院	8		12	135	155	194	
32	橋本 社会医療法人 博寿会 山本病院	8		12	124	144	147	
33	有田 医療法人たちばな会 西岡病院	4		47	94	145	136	
34	那賀 名手病院	2		32	107	141	75	
35	御坊 整形外科北裏病院	1		57	49	107	89	
36	御坊 独立行政法人国立病院機構 和歌山病院	18		43	100	161	32	
37	和歌山 医療法人曙会 和歌浦中央病院				32	32	183	
38	和歌山 医療法人裕紫会 中谷病院	6		10	31	47	139	
39	田辺 国保すさみ病院	7		11	38	56	116	
40	那賀 富田病院	2		13	61	76	71	
41	和歌山 医療法人琴仁会 石本病院	14		5	74	93	41	
42	和歌山 古梅記念病院	3		5	58	66	65	
43	和歌山 今村病院				9	9	99	
44	有田 和歌山県立こころの医療センター			12	17	29	66	

二次医療圏	搬送機関：機関名	初診医師評価						
		1-死亡	2-重篤	3-重症	4-中等症	中等症以上小計	5-軽症	6-その他
45	和歌山 上山病院			2	11	13	72	
46	和歌山 宇都宮病院			3	25	28	54	
47	和歌山 高山病院			1	13	14	40	
48	有田 桜ヶ丘病院	3		3	26	32	14	
49	和歌山 伏虎リハビリテーション病院			1	21	22	20	
50	和歌山 医療法人博文会 児玉病院			5	11	16	23	
51	和歌山 嶋病院	2		2	22	26	8	
52	那賀 殿田胃腸肛門病院			2	18	20	13	
53	和歌山 福外科病院			1	14	15	15	
54	和歌山 医療法人青松会 河西田村病院			1	11	12	17	
55	和歌山 角谷整形外科病院				14	14	15	
56	那賀 紀の川病院				11	11	14	
57	田辺 紀南こころの医療センター			2	2	4	20	
58	和歌山 医療法人良友会 西和歌山病院			1	11	12	11	
59	和歌山 医療法人 宮本病院			2	2	4	14	
60	和歌山 医療法人旭会 和歌浦病院				4	4	14	
61	和歌山 稲田病院			1	8	9	9	
62	和歌山 医療法人 田村病院			1	6	7	8	
63	田辺 医療法人宝山会 白浜小南病院				7	7	1	
64	橋本 紀の郷病院			4	2	6	2	
65	和歌山 谷口病院	1		1	3	5	3	
66	和歌山 零の浦リハビリテーションセンター附属病院			2	2	4	3	
67	有田 有田南病院			2	4	6	1	
68	田辺 医療法人洗心会 玉置病院			1	3	4	1	1
69	新宮 医療法人日進会 日進会病院	1			2	3		
70	和歌山 医療法人 浜病院				1	1	1	
71	新宮 医療法人 芳純会 潮岬病院				0	0	2	
72	新宮 医療法人健佑会 串本有田病院				0	0	2	
73	和歌山 井上病院				0	0	2	
74	和歌山 笠松病院				0	0	1	
75	新宮 新宮病院			1		1		
76	和歌山 瀬藤病院				1	1		

【数値出典】 2018年消防統計

定量的な基準 ② （和歌山方式）

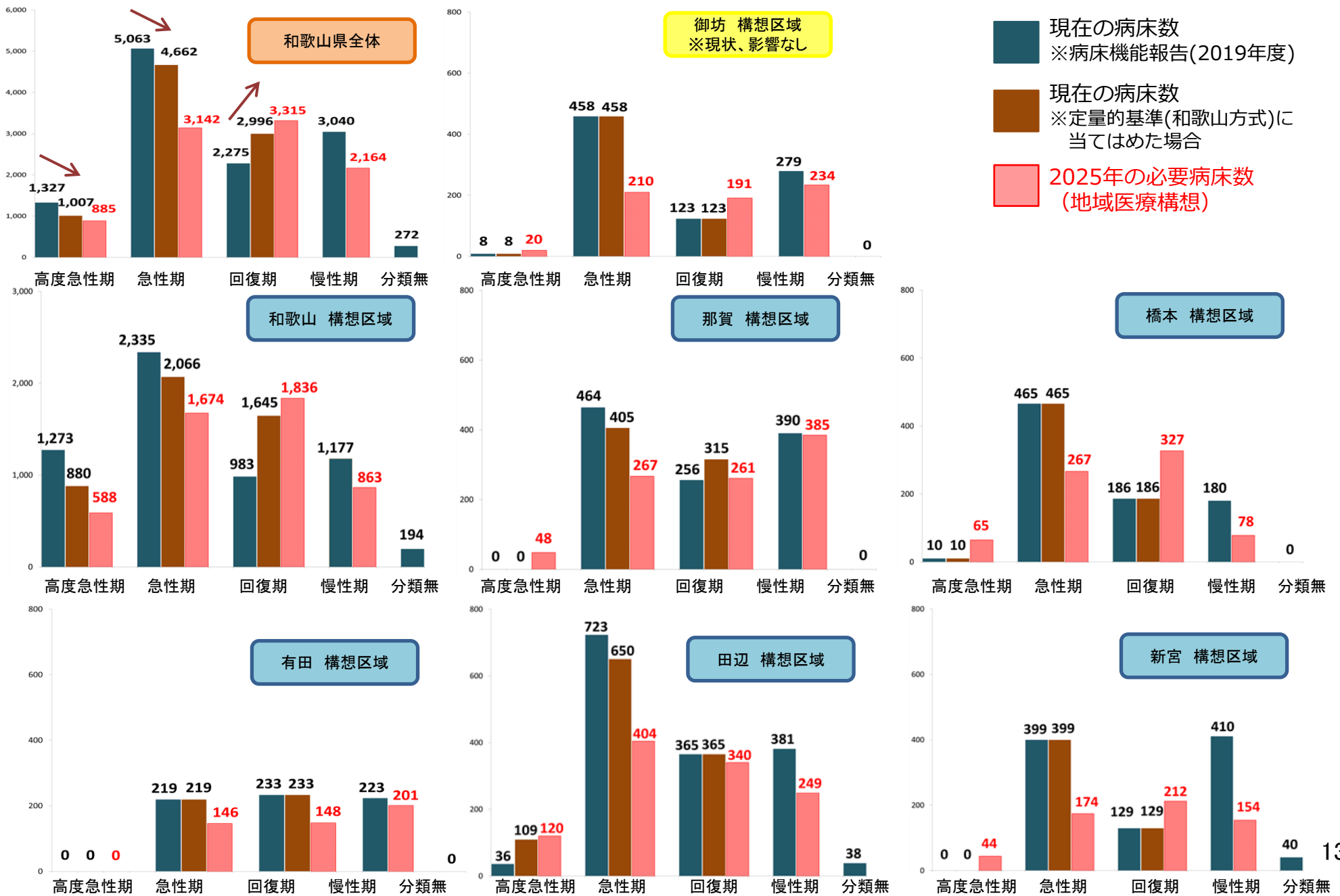
①救急搬送
中等症以上
≥100件/年

または

②救急搬送総計
≥300件/年

> ①②いずれも満たさない病院は「急性期」と報告しない

2019年度病床機能報告に「和歌山県における定量的な基準」をあてはめた場合の病床数



2019年度病床機能報告に「和歌山県における定量的な基準」をあてはめた場合の病床数

圏域名	医療機能								
		【1】	【2-A】	【2-A】-【1】	【2-B】	【3】	【2-A】-【3】	【2-B】-【3】	
		2015年の 病床数 ※病床機能報告	2018年の 病床数 ※病床機能報告	2019年の 病床数 ※病床機能報告	前年度からの 増減 ※病床機能報告	2019年の 病床数 ※定量的基準	2025年の 必要病床数 ※地域医療構想	2019年と2025 年必要病床数 との乖離 ※病床機能報告 ベース	2019年と2025 年必要病床数 との乖離 ※定量的基準 ベース
和歌山	① 高度急性期	1,281	1,261	1,273	12	880	588	685	292
	② 急性期	2,793	2,406	2,335	▲ 71	2,066	1,674	661	392
	③ 回復期	622	862	983	121	1,645	1,836	▲ 853	▲ 191
	④ 慢性期	1,377	1,280	1,177	▲ 103	1,177	863	314	314
	分類なし	199	228	194	▲ 34	194		194	194
	小 計	6,272	6,037	5,962	▲ 75	5,962	4,961	1,001	1,001
那 賀	① 高度急性期	0	0	0	0	0	48	▲ 48	▲ 48
	② 急性期	483	464	464	0	405	267	197	138
	③ 回復期	198	256	256	0	315	261	▲ 5	54
	④ 慢性期	429	390	390	0	390	385	5	5
	分類なし	19	0	0	0	0		0	0
	小 計	1,129	1,110	1,110	0	1,110	961	149	149
橋 本	① 高度急性期	6	10	10	0	10	65	▲ 55	▲ 55
	② 急性期	498	465	465	0	465	267	198	198
	③ 回復期	171	186	186	0	186	327	▲ 141	▲ 141
	④ 慢性期	179	180	180	0	180	78	102	102
	分類なし	12	0	0	0	0		0	0
	小 計	866	841	841	0	841	737	104	104
有 田	① 高度急性期	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 急性期	350	266	219	▲ 47	219	146	73	73
	③ 回復期	85	207	233	26	233	148	85	85
	④ 慢性期(特例)	263	223	223	0	223	201	22	22
	分類なし	0	0	0	0	0		0	0
	小 計	698	696	675	▲ 21	675	495	180	180
御 坊	① 高度急性期	4	8	8	0	8	20	▲ 12	▲ 12
	② 急性期	492	458	458	0	458	210	248	248
	③ 回復期	97	123	123	0	123	191	▲ 68	▲ 68
	④ 慢性期	274	279	279	0	279	234	45	45
	分類なし	38	0	0	0	0		0	0
	小 計	905	868	868	0	868	655	213	213
田 辺	① 高度急性期	36	36	36	0	109	120	▲ 84	▲ 11
	② 急性期	926	805	723	▲ 82	650	404	319	246
	③ 回復期	171	283	365	82	365	340	25	25
	④ 慢性期	503	461	381	▲ 80	381	249	132	132
	分類なし	44	48	38	▲ 10	38		38	38
	小 計	1,680	1,633	1,543	▲ 90	1,543	1,113	430	430
新 宮	① 高度急性期	0	0	0	0	0	44	▲ 44	▲ 44
	② 急性期	559	399	399	0	399	174	225	225
	③ 回復期	64	129	129	0	129	212	▲ 83	▲ 83
	④ 慢性期	397	410	410	0	410	154	256	256
	分類なし	44	40	40	0	40		40	40
	小 計	1,064	978	978	0	978	584	394	394
県 計	① 高度急性期	1,327	1,315	1,327	12	1,007	885	442	122
	② 急性期	6,101	5,263	5,063	▲ 200	4,662	3,142	1,921	1,520
	③ 回復期	1,408	2,046	2,275	229	2,996	3,315	▲ 1,040	▲ 319
	④ 慢性期	3,422	3,223	3,040	▲ 183	3,040	2,164	876	876
	分類なし	356	316	272	▲ 44	272		272	272
	小 計	12,614	12,163	11,977	▲ 186	11,977	9,506	2,471	2,471

※病床機能報告は、各年7月1日現在。

引き続き、定量的な基準
に留意しつつ、地域におけ
る自院の立ち位置を把握
し、2020年度(令和2年度)
の病床機能報告に取り組ん
でいただくようお願いします。



令和2年度病床機能報告の実施における論点

第26回地域医療構想WG	資料2
令和2年8月14日	

※ 一部改変

病床機能報告対象病院等は、医療法等の規定に基づき、病床の機能分化連携の推進のため、毎年7月1日における病床の機能等を病棟単位で都道府県知事へ報告し、都道府県知事は報告された事項について公表することとされている。

【論点1 令和2年度診療報酬改定を踏まえた「具体的な医療の内容に関する項目」の報告について】

- 報告事項のうち「具体的な医療の内容に関する項目」については、診療報酬の診療行為に着目して報告項目を設定し、毎年6月のレセプト情報による診療実績の報告を求めており、令和2年度診療報酬改定を踏まえて、報告項目の名称変更や見直しについて対応する必要がある。
- しかしながら、本年6月のレセプト情報による診療実績については、令和3年度病床機能報告において、診療実績の報告を通年化し、令和2年4月から令和3年3月の診療実績の報告を求めれば、令和2年6月も含めて報告がなされることを踏まえると、必ずしも今年度の病床機能報告において求める必要はないと思われる。また、新型コロナウイルス感染症対応下であるため、病床機能報告対象病院等に対する負担軽減を図ることも重要であると考える。
- そのため、令和3年度病床機能報告における診療実績の報告の通年化を前提として、令和2年度の病床機能報告ではレセプト情報による診療実績の報告を求めないこととしてはどうか。⇒様式2の報告は実施しない

【論点2 その他の報告項目の追加・変更の検討について】

- 例年、病床の機能分化・連携の推進に当たり、必要な報告項目の追加、変更の検討を行っているが、新型コロナウイルス感染症対応下であることから、病床機能報告対象病院等に対して新たな対応を求めることは困難であると考える。
- そのため、令和2年度病床機能報告では、論点1の「具体的な医療の内容に関する項目」を除き、報告項目の追加・変更を行わないこととしてはどうか。⇒様式1の報告は報告項目の追加・変更を行わずに実施する

◎ 今年度の病床機能報告を簡素化＝新型コロナで負担軽減―厚労省

20/08/24 07:30 KP02

厚生労働省は、医療機関に義務付けている現状の病床機能などに関する都道府県への報告について、2020年度は大幅に簡素化する方針だ。医療機関が新型コロナウイルス対応に追われる中、回答に当たっての負担を軽減する狙い。有識者らで構成する同省の地域医療構想に関するワーキンググループ（WG）に方針を提示した。

厚労省は、「団塊の世代」がすべて75歳以上になる25年の医療需要や病床の必要量を定めた地域医療構想の実現に向け、足元の状況を把握するための「病床機能報告」制度を設けている。同制度に基づき、医療機関は毎年7月1日時点と、25年時点で予定する病床の機能を「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の中から選択するほか、手術件数など1カ月（6月分）の診療実績を取りまとめて回答。報告された内容は、都道府県が公表する仕組みだ。

例年は10月ごろが医療機関から都道府県への報告期間となるが、厚労省は今年度、新型コロナの影響も踏まえ、**20年6月の診療実績の報告は求めない**こととする。

既にWGは19年2月、診療実績をより正確に把握するため、報告を1カ月分から通年に切り替える方針を示している。21年度については、20年4月～21年3月の実績を回答してもらう方向。この中には20年6月の診療実績も含まれるため、本来は今回の報告対象だった期間も把握できると判断した。

厚労省は例年、医療機関に報告してもらう項目を見直しているが、20年度は新型コロナのため医療機関に新たな対応を求めるのが困難であることを考慮。**一部を除いて報告事項の追加や変更を見送る方針**だ。（了）